

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第四中学校
校 長 名 小 島 幸 子
(公印省略)

令和7年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- ◎よく考え自ら学ぶ人（主体的に学ぶことのできる生徒：「課題対応能力」）
- 心身を鍛えやりぬく人（心身ともに自ら鍛え自己管理のできる生徒：「自己理解・自己管理能力」）
- 他を思いやり責任ある行動をとる人（他を思いやり社会貢献できる生徒：「人間関係形成・社会形成能力」）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア よく考え自ら学ぶ人「課題対応能力」を育成するために

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、思考力・判断力・表現力等の育成をより一層重視するなど、3つの資質能力をバランスよく育成する。
- ② 一人1台端末の活用による、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- ③ 第4次日野市学校教育基本構想に基づき「学びの変革プロジェクト」を推進し、生徒が自ら課題を見出し、探究的な学びの過程を通して課題を解決する力を高めることができるように、年3回以上外部講師を招聘するなど、校内での授業研究を推進する。

イ 心身を鍛えやりぬく人「自己理解・自己管理能力」を育成するために

- ① 健康教育、安全指導等の充実を通して、体力の向上を図るとともに、健康で主体的・対話的に運動に親しむ資質や能力を育成する。
- ② 望ましい生活習慣や食習慣の確立のために、家庭と連携した食育を推進するとともに、食物アレルギーに関する知識や理解を深めさせ、健全な生活を営む力を身に付けさせる。
- ③ 保健体育の授業において、外部講師を招聘した本物に触れる体験授業を実施する。

ウ 他を思いやり責任ある行動をとる人「人間関係形成・社会形成能力」を育成するために

- ① 学級活動や道徳の授業、学校行事等の学校の教育活動全体を通じて生徒の人権感覚を高める取組を行い、多様性の理解や思いやりの心を育む。
- ② ボランティア活動や地域行事へ参加する機会を増やし、学校や地域の一員として自覚を育てるとともに、生徒の自己有用感やコミュニケーション能力等を向上させる。
- ③ いじめ防止対策の充実を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期対応について組織的に対応するとともに、保護者・地域・関係機関との連携を図る。

エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ① すべての生徒が夢をもち、夢を育めるようにするために、誰一人取り残さない学校づくりを目指し、学習支援や教育相談、不登校支援を充実させる。
- ② 教育活動の充実に向けて、本校学区の小学校との連携を密に、小中9年間の学びの視点では、教科指導について、育ちの視点では、基本的な生活習慣や授業規律等についての連続性を図る。また、地域の小学生と交流を図る行事の企画・運営に取り組みせ、小学生との交流を促進する。